

2026年4月入学生用 教職課程説明資料

(生物生命学部)

1. 免許状の種類及び教科

学 科	免許状の種類及び教科
生 物 生 命 学 科	高等学校教諭一種免許状 (理科) 中学校教諭一種免許状 (理科)

2. 免許状取得資格

(1) 基礎資格と最低修得単位数

教育職員免許状を取得するための基礎資格は学士の学位を有すること。

その他に、教育職員免許法に定められた「大学における最低修得単位数」の科目として「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「文部科学省令で定める科目」の単位を修得が必要。単位数は次の通り。

免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数		
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	文部科学省令で定める科目
高等学校教諭一種免許状 (理科)	学士の学位を有すること	24	35	12
中学校教諭一種免許状 (理科)		28	31	12

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

★理科(高校) 認定学科：生物生命

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な探究の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	◎			○						
関教育実践に	教育実習 教職実践演習	3 2	○						○		○	
計			23	24								

※◎○は必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

★理科(中学) 認定学科：生物生命

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な探究の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	◎			○						
関教育実践に	教育実習 教職実践演習	5 2	○						○		○	
計			27	28								

※◎○は必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆介護等体験7日間「社会福祉施設5日間、盲・聾・養護学校2日間」(中一種免許必修)

☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

中学免許

※高校免許は次のページへ

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★生物生命学科
「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	各項目についてそれぞれ1単位以上 中31単位	○ 基礎物理学	2	
			物理学	2	
	化学		○ 化学	2	
			○ 生体物質化学	2	
			生化学	2	
			○ 分析化学	2	
			○ 有機化学	2	
			生物物理化学	2	
			タンパク質科学	2	
			生体高分子科学	2	
食品分析学	2				
生物学	微生物学	2			
	生理活性物質学	2			
	生物資源環境工学	2			
	生命環境科学	2			
	分子生物学	2			
	細胞生物学	2			
	遺伝子工学	2			
	○ 生物学	2			
	学術研究実践入門	2			
	環境生体情報学	2			
免疫学	2				
生物学	2				
地学	○ 地学	2			
	○ 物理学実験	2			
物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	○ 生化学実験	2			
	○ 生命科学実験	2			
	○ 環境科学実験	2			
	○ 微生物学実験	2			
	○ 臨床工学基礎実験	2			
	○ 食品科学実験	2			
	○ 地学実験	2			
	○ 理科教育法Ⅰ	2			
○ 理科教育法Ⅱ	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○ 理科教育法Ⅲ	2			
	○ 理科教育法Ⅳ	2			

※中学・高校両方の免許を取得する場合は、中学免許の科目を修得すれば高校免許も取得できます。

高校免許

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★生物生命学科
「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する専門的事項	物理学	各項目についてそれぞれ1単位以上 中31単位	○ 基礎物理学 物理学	2 2	
	化学		○ 化学 ○ 生体物質化学 生化学 ○ 分析化学 ○ 有機化学 生物物理化学 タンパク質科学 生体高分子科学 食品分析学	2 2 2 2 2 2 2 2	
	生物学		微生物学 生理活性物質学 生物資源環境工学 生命環境科学 分子生物学 細胞生物学 遺伝子工学 ○ 生物学 学術研究実践入門 環境生体情報学 免疫学 生物工学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	地学		○ 地学	2	
	「物理学実験、 化学実験、 生物学実験、 地学実験」		物理学実験 ○ 生化学実験 ○ 生命科学実験 ○ 環境科学実験 ○ 微生物学実験 ○ 臨床工学基礎実験 ○ 食品科学実験 地学実験	2 2 2 2 2 2 2 2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		○ 理科教育法Ⅰ ○ 理科教育法Ⅱ	2 2	

(4) 文部科学省令で定める科目

文部科学省令で定める科目	最低修得 単 位 数	本学の授業科目	単位数	備 考
日本国憲法	2	◎日本国憲法	2	必修
体育	2	◎健康スポーツ教育Ⅰ	1	これら2科目より1科目選択・必修
		◎健康スポーツ教育Ⅱ	1	
		◎健康科学概論	2	必修
外国語コミュニケーション	2	◎イングリッシュコミュニケーションⅢ	1	必修
		◎イングリッシュコミュニケーションⅣ	1	
数理、データ活用及び 人口知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	◎データサイエンス入門	2	必修
		◎情報処理基礎	2	
計	8	計	11	